

ロシア革命、内戦、チェコスロヴァキア軍団、シベリア出兵、ウィルソン外交
米国とロシア内戦に関するベティ・ミラー・ウンターバーガー文書集成

United States and the Russian Civil War
The Betty Miller Unterberger Collection of Documents

ロシア革命によるソヴィエト政権誕生と内戦、干渉戦争(シベリア出兵)

第一次大戦末期の 1917 年、十月革命で政権を獲得したソヴィエト政権は、翌 1918 年、ドイツと単独講和を締結し戦争を離脱しました。しかし、社会主義国家の建設に向かうソヴィエト政権の前には反革命勢力が立ちほだかり、ロシアは内戦に突入します。ソヴィエト政権を警戒する連合国は十月革命直後から干渉の機会を伺っていましたが、それぞれの思惑を抱え、共同行動を取る体制が出来ません。そのような状況の中で、シベリア鉄道沿線でチェコスロヴァキア軍団の反乱が発生しました。第一次大戦でオーストリア軍の下で戦い、ロシア軍に投降し、捕虜になっていたチェコ人とスロヴァキア人をフランス軍の指揮下に置き、西部戦線の対独戦に従事させる協定がチェコ独立運動指導者トマーシュ・マサリクとフランス政府の間で締結され、ロシア領内のチェコスロヴァキア軍団をウラジオストーク経由で輸送する計画が立てられたものの、輸送計画が頓挫し、ソヴィエト政権と対立した軍団が決起しました。ソヴィエト政権からチェコスロヴァキア軍団を救出するという大義名分を得た連合国は対ソ干渉戦争を本格化させます。日本とアメリカはウラジオストークを拠点にシベリアに出兵、イギリスとフランスもアルハンゲリクに進軍し、コルチャーク将軍の下に結集したロシア国内の反革命勢力(白衛軍)とともに、ソヴィエト政権包囲網を形成しました。しかし、軍事に精通した旧帝政ロシアの将校・将軍の抜擢や徴兵制の採用による赤軍の立て直し、革命による土地を獲得した農民のソヴィエト政権支持、白衛軍・連合国軍の間の利害対立により、反革命勢力は敗北しました。各国も 1920 年以降撤兵しますが、その後も単独駐留した日本は特に米国との外交関係に禍根を残すこととなります。

内戦と干渉戦争(シベリア出兵)に関する政治家、外交官、軍人、団体の文書 8,000 点を電子化

本データベースはロシア内戦と干渉戦争(シベリア出兵)に関わる各国の政治家、外交官、軍人、団体の文書(書簡、日誌、諜報記録)を集めて電子化したものです。原資料は、テキサス A&M 大学で長く教授を務め、アメリカ外交史協会の会長を歴任したベティ・ミラー・ウンターバーガーが長年の研究活動の中で収集した文書で、総計 8,000 点に及びます。収録文書の多くはアメリカの政治家、外交官、軍人のものですが、ロシア、イギリス、フランス、チェコスロヴァキア、日本、ドイツ等の関係者の文書も含まれます。いずれも内戦やシベリア出兵の当事者の文書で、誰と誰がいつ、どのような文書を交換していたか、誰がどのような情報を持っていたか、誰からどのような情報を入手したか、外交や軍事に関わる意思決定がどのようなプロセスで行なわれたか、等々を克明に明らかにします。各文書には、文書の発信者、受信者、発信日、簡単な要約を記したウンターバーガー作成の 1 ページの梗概が付されています。収録文書の大半は英語ですが、英語以外の文書は大半が英訳されています。



【書簡の発信者・受信者(例)】

◆アメリカ

- ◆ ウッドロー・ウィルソン(大統領)
- ◆ ロバート・ランシング(国務長官)
- ◆ デヴィッド・フランシス(駐露大使)
- ◆ マディン・サマーズ(モスクワ総領事)
- ◆ デウィット・プール(モスクワ領事)
- ◆ ジョン・コードウェル(ウラジオストーク領事)
- ◆ デヴィッド・マクガワン(ウラジオストーク領事)
- ◆ アーネスト・ハリス(イルクーツク総領事)
- ◆ ウォルター・ペイジ(駐英大使)
- ◆ ジョン・デイヴィス(駐英大使)
- ◆ ウィリアム・シャープ(駐仏大使)
- ◆ ローランド・モリス(駐日大使)
- ◆ ポール・ラインシュ(駐華公使)
- ◆ ウォルター・ドライズデール(駐華公使館駐在武官)
- ◆ ウィリアム・グレーヴス(シベリア派遣軍司令官)
- ◆ モンゴメリー・スカイラー(シベリア派遣軍情報将校)
- ◆ ロバート・アイケルバーガー(シベリア派遣軍情報将校)
- ◆ レイモンド・ロビンス(米国赤十字ロシア使節団代表)

◆ロシア

- ◆ レーニン(人民委員会議長)
- ◆ レフ・トロツキー(国防人民委員)

- ◆ ゲオルギー・チチューリン(外務人民委員)
- ◆ アレクサンドル・コルチャーク(反革命政府指導者)
- ◆ ドミートリー・ホルヴァート(東清鉄道長官)
- ◆ チェコスロヴァキア
- ◆ トマーシュ・マサリク(独立運動指導者、大統領)
- ◆ エドヴァルド・ベネシュ(独立運動指導者、外務大臣)

◆イギリス

- ◆ ロイド=ジョージ(首相)
- ◆ アーサー・バルフォア(外務大臣)
- ◆ ジョージ・ブキャナン(駐露大使)
- ◆ ジョージ・カーゾン(駐露大使)

◆フランス

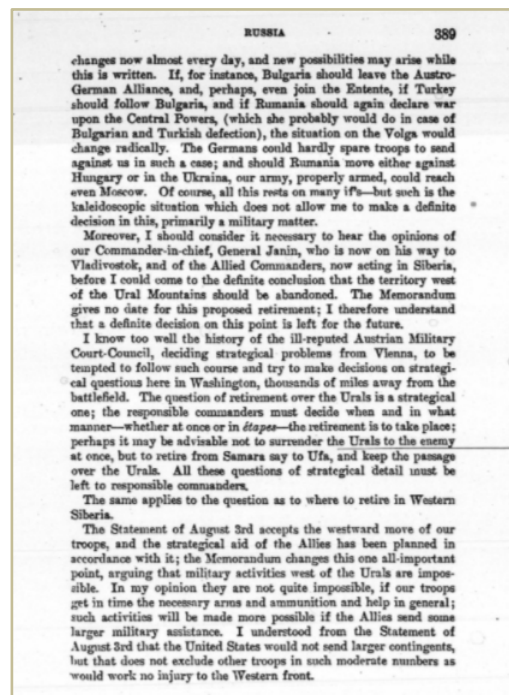
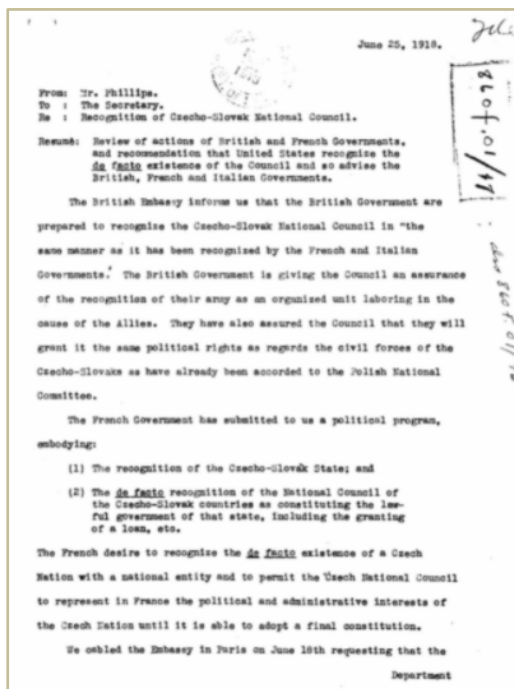
- ◆ ジョルジュ・クレマンソー(首相)
- ◆ ステファン・ピション(外務大臣)
- ◆ ジョゼフ・ヌーラン(駐露大使)
- ◆ ジャン・ジュール・ジュスラン(駐米大使)

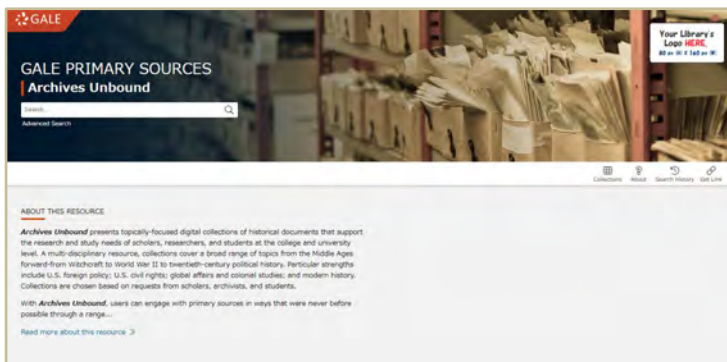
◆ドイツ

- ◆ ヴィルヘルム・フォン・ミルバッハ(駐露大使)

◆日本

- ◆ 内田康哉(外務大臣)
- ◆ 大谷喜久蔵(シベリア派遣軍司令官)
- ◆ 田中義一(陸軍大臣)
- ◆ 上原勇作(陸軍参謀総長)





◆ データベースの概要

- ◆ 原資料所蔵機関: Betty Miller Unterberger 個人蔵
- ◆ ページ数: 32,786 ページ
- ◆ 年代: 1917-1923 年

※本データベースは *United States and the Russian Civil War: The Betty Miller Unterberger Collection of Documents (Scholarly Resources)* を電子化したものです。